

福島原発事故から 4 年
原発事故による福島県健康被害の今
～放射能から子どもを守りたい！～

日時：7月12日（日）14：00～17：00

会場：千里ニュータウンプラザ 6階ラコルタ
阪急南千里駅改札左へスグ
(資料代 500 円)

プログラム

- 1) 14：00～14：05 あいさつ
- 2) 14：05～15：30
福島・小児甲状腺がん 117 名の多発心肺疾患、周産期異状を
どう見るか—医療問題研究会／医師の報告
- 3) 15：30～15：40 休憩
- 4) 15：40～17：00
原発事故避難者のお話詩を聞く会@すいた
原発事故から 4 年を過ぎたのに（放射線量の高い地域からの避難者の声）
福島県南相馬市 → 京都府十津川市 → へ移住 F さんの訴え
千葉県松戸市 → 大阪市平野区 → へ移住 T さんの訴え

原発事故から 4 年。大量の放射能汚染によって、多くの世帯が避難を余儀なくされています。

福島県では、小児甲状腺がんとその疑いのある子どもたちが 117 名（福島県発表）と異常多発しています。放射能による健康被害への不安が高まっているにもかかわらず、国も福島県も「放射能によるものではない」と否定しています。国は年 20 ミリシーベルト（放射線管理従事者が許容する基準で事故前は 1msv だった）以下の帰還困難者区域以外の帰還を決定した！被ばくを当たり前のこととして強要しています。こんなことは許されません。

「そんなのおかしい。自分の当たり前の生活を取り戻したい」と勇気をもって裁判に立ち上がっている避難者の方の怒り、悩み、ともに歩んでください！という生の声をお聞かせください。

復興支援すいた市民会議
主催 3.11 を忘れない実行委員会
担当：滝本 080-5367-1944

ラコルタ
共催 吹田市立市民公益活動センター
TEL 06-6155-3167

ボク達に 国や県が唯一用意してくれたのは安物のガラスバッチだけ！！

「震災後の福島のすがた」写真展

3.11 アーカイブス 防災への啓発イベント

7月9日(木)～7月14日(火)

会場：千里ニュータウンプラザ 2階ロビー (入場無料)

福島の写真家・飛田 晋秀が 3.11 後の避難区域周辺を激撮
マスメディアでは知りえない真実を展示



- 風化させない 大地震から4年 記憶にとどめ次世代に伝える
- 思いやる心 未だ12万人以上が避難生活 震災者を応援しよう
- 明日は我が身 大飯原発が爆発すると最短で2時間でプルームが到達

飛田 晋秀 略歴：

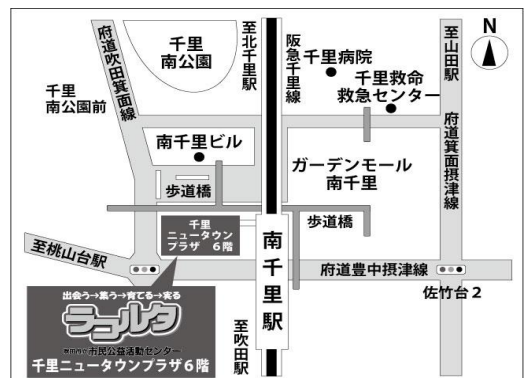
1947年福島県三春町生まれ・在住

全国の職人や自然を撮影。日本の伝統・文化を記録。

「写真集・三春職人は」国会図書館に永久保存。

3.11以降、警戒地域周辺をはじめ被災地の状況を撮影

全国の自治体・大学などで写真展・講演会を開催中



<会場地図>

復興支援すいた市民会議

主催 3.11.を忘れない実行委員会

担当：滝本 080-5367-1944

ラコルタ

共催 吹田市立市民公益活動センター

TEL 06-6155-3167